

◆令和4年12月8日

「とちぎ女性農業委員の会第14回通常総会」

「女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員研修会」を開催！

護国会館（宇都宮市）で開催し、84人が参加。

通常総会では、第1号議案～第5号議案（事業報告・計画、収支決算・予算等）の全議案が承認されました。



研修会では、埼玉県越生町で梅の生産・販売等を行う、梅の里おごせ山口農園代表の山口由美さんにお越しいただき「農業の新たな可能性～私らしい梅しごと」と題して講演。これまでに取り組んできた事業や農業への熱い想いを聞くことが出来ました。



最後に、①講演を聞いて思うこと・感じたこと②農業を次世代へ繋ぐために今の私たちができることについてグループディスカッションをしました。

◆令和5年1月10～11日

「令和4年度女性農業委員登用促進研修会」に参加！

(一社)都道府県農業会議・府県女性農業委員会組織主催による「令和4年度女性農業委員登用促進研修会」に参加しました。

日本大学生物資源科学部の川手督也教授が「女性が輝く農業・農村創造のためにー農業委員会における女性登用と期待される役割ー」について講演。川手教授は、“「女性が」「男性が」という時代ではない。どの分野においても女性が活躍するのは当たり前。今は多様な人材が活躍する時代である。”と話していました。



事例報告では、富山県農業委員会女性協議会の田悟敏子会長、宮崎県えびの市農業委員会の尾山寛文会長、(一社)山口県農業会議の寺内一雄事務局次長から、女性委員の登用について、要請活動や研修会の開催、地方紙等マスコミの活用方法などを紹介。

最後に“勝負の年”に向けて女性の委員を増やすアイデアを出し合おう！”というテーマで全体協議。各都道府県で抱える悩みや課題を共有し、これからの活動に向けて士気を高めました。



研修会后、「第13回全国農業委員会女性協議会総会」が開催され、全ての議案が承認されました。

◆令和5年1月13日

「令和4年度農村女性トップリーダー懇談会」に参加！

栃木県農村女性会議とともに県土地改良事業団体連合会へ。土地改良区の仕組みや理事における男女共同参画推進の現状、員外理事制度について勉強してきました。



とちぎ美土里ネット女性の会と女性理事の登用について意見交換を行い、今後はさらに連携・協力して女性の社会参画を進めよう！と決意を新たにしました。

◆令和5年1月24日

いわてポラーノの会と意見交換！

岩手県の女性委員で構成される「いわてポラーノの会」ととちぎ女性農業委員の会で女性委員の登用促進について意見交換をしました。本会役員の外、県内で一位の登用率を誇る日光市農業委員会（OB含む）も参加し、地元での活動（食育活動、農機具研修会、視察研修）、会長・農業委員としての悩み、女性協議会の取組、女性委員登用の課題、展望、対策、関係機関との連携等について話し合いました。

いわてポラーノの会、事務局の岩手県農業会議の皆さま、ご協力ありがとうございました。



◆令和5年3月2日

「令和4年度とちぎ女性農業者フォーラム」に参加！



熊本県南阿蘇村で水稻を栽培するO2 FarmのEri（大津愛梨）さんの講演を聞きました。テーマは「農業なくして持続可能な社会なし～女性農業者の飽くなき挑戦～」。田んぼファッションショー、レストランバスツアー、リトルファーマー塾などを自ら企画し、農業・農村の魅力を発信し続けるEriさんのお話は大好評でした。

パネルディスカッションでは、「女性が輝く地域農業を考える」というテーマで議論。本会の役員である石塚啓子さん（高根沢町）がパネラーとして参加しました。

◆令和5年3月9日

「第18回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」

「令和4年度女性の委員のための農業者年金セミナー」に参加！

（一社）都道府県農業会議・府県女性農業委員会組織主催による「第18回女性の農業委員会活動推進シンポジウム」に参加しました。

今回のテーマは「女性の力で進めよう！農地利用の最適化」。全国農業委員会女性協議会の横田会長は“地域農業を守るためにも、全国各地の取り組みを学び、地元で実行してほしい”と挨拶。



東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科の堀部篤教授が「地域計画の作成における女性の農業委員・推進委員に期待される役割」と題して講演。

堀部教授の研究によると、“797 農業委員会を調査した結果、女性委員の割合が 10% 増加すると遊休農地面積が 9.1% 減少し、農業者年金加入者が 1.4% 増加する” ことが分かりました。また、地域計画については“警戒せずに地域のために楽しみながらやれることをやっていきましょう！” と呼びかけました。

事例報告では、新潟県、熊本県、鳥取県の女性委員 3 人が地域計画の取組や農業委員会の役割、eMAFF 農地ナビの活用について発表しました。

最後に、“男女共同参画社会の実現を積極的に推進し、「農地利用の最適化」に全力で取り組もう！” と、本会の興野会長がアピールを読み上げました。



シンポジウム後は、農業者年金セミナーに参加しました。

◆令和 5 年 3 月 1 0 日

「未来農業 DAY s 2023」に参加！

農業の未来を担う若手農業者や女性農業者の優れた取組を表彰、支援するとともに、農業に関心のある方々の革新的なアイデアに対し支援することで、未来農業の中心となる若者・女性の取組等を広く社会に発信する「未来農業 DAY s」に参加。

「こと京都」代表の山田敏詩氏の基調講演から始まり、「第 7 回大地のカコンペ」のファイナルプレゼンテーションが行われました。

農林水産業及び農山漁村の活性化や政策・方針決定への女性の参画推進など女性活躍推進のために優れた活動を行っている個人や団体を表彰する「農山漁村女性活躍表彰」の授賞式が開かれ、女性地域社会参画部門（組織）では、日光市農業委員会が最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞しました。



◆令和5年5月24日

「令和5年度栃木県農村女性会議定期総会」

「農業・農村男女共同参画研修会」に参加！

栃木県農村女性会議の定期総会が開催され、全ての議案が承認されました。議長を本会の山野井副会長が務めました。

研修会では、農山漁村女性活躍表彰で受賞した日光市農業委員会とパナプラス株式会社（栃木市）さんへ賞状が伝達され、お二方から事例発表がありました。

研修会後半では、日本農業新聞の論説委員長を務める鈴木祐子さんが「わたしたちはどう生きるか～多様性の時代をともに生きていくために～」と題して講演。鈴木さんの力強くもユーモアのあるお話に皆さん熱心に耳を傾けていました。



◆令和5年7月

女性委員登用要請活動を実施！

下記日程で女性委員の登用について意見交換を行い、各市町農業委員会会長に対し「女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に向けた要請書」を渡しました。

	日程	対象市町
①	7月4日	下野市
②	7月5日	高根沢町
③	7月7日	那珂川町
④	7月18日	那須烏山市
⑤	7月21日	日光市



(写真) 高根沢町農業委員会にて